

派遣先 タイ・マヒドン大学 (Mahidol University, MU)

派遣期間 2014 年 8 月 25 日(月)~9月6日(土)

実習高校 Nawaminthrarachinuthit Satriwitthaya Putthamonthon (NSP) (大学の寮から車で20分ほどの場所)

滞在先 Condo D, Mahidol University, Putthamonthon 4, Salaya Nakhon Pathom 73170

引率教員 エイプリル・ダフネ

2014 年 8 月 25 日

10:35

羽田発 TG683 にてバンコクに向かう。

15:00

バンコク国際空港着。空港には、Phim さん (International Relations Officer) が迎えに来ていた。両替などを済ませて迎えのバンに乗車する。

17:30

途中のどかな風景を通り 1 時間でマヒドン大学に到着する。キャンパス内の広さに驚く！寮には、Oam、Pimmy、M、Myao が出迎えにきてくれていた。

寮は、1 番新しい棟の 15 階建て D を準備してくれた。最上階で景色も最高。エアコンもあり室内は快適である。通常は寮にないバスタオルやアメニティも準備してくれていた。

18:30

Oam、Pimmy、M、Myao とキャンパス内移動バスに乗りカフェテリアへ夕食に行く。オープンエアのカフェテリアでタイ料理を食べる。帰りに学内のセブンイレブンで日常用品を購入し、15 分くらい歩いて寮まで帰る。

22:30

就寝

2014 年 8 月 26 日

8:15

寮のロビーに集合し模擬授業の流れの確認をし、Pim さんのお迎えで大学トラムに乗り移動した。Nopraenue 先生、Oh さん滞在中のスケジュールや寮についてなどを確認。学生証のための写真撮影や Wifi、大学内での自転車のレンタルのことについて、手配して下さった。

～12:00 Ohさんが模擬授業を見てくださり、内容について以下のアドバイスをしてくださった。

Feedback session 1

Date and Time: 26 August/10:13-10:56 (43 mins)

Place: Mahidol University, Room: Janpa

Mahidol University Representative: Preedaree Sirirat “Oh Sensei” (Nakhon Pathon University Lecturer)

Comments:

DAY 1

1. About the homework, I think you have to explain about the activities for the next day. (We will bring the materials, and show it to the class. We will tell them that we will be using these materials, but we will explain the details on day 2.)

DAY 2

2. So maybe the first activity, I believe that you should just let one group finish one activity to avoid confusion.
3. Maybe you should listen to the impressions of students who did activities under pink, green, and blue groups.
4. First you can help someone, you should understand the person's needs first. Maybe you should go back to the impressions, and maybe you can use the keywords: understanding, kindness, communication before you can summarise the lesson.
5. I think the activity you should do the review for only 5 minutes, because the activity can take about 20 minutes.
6. Just directly explain the mission, and the remaining members will demonstrate each activity.
7. Change the 'groups' to the name of the colors.
8. Timer is needed.

その後、修正箇所と Day 2 の activity の準備でできていないところを進めた。

12:00

学内のカフェテリアで食事。

13:20

午前に引き続き授業準備を分担し、途中ディスカッションをしながら進めた。Myao さんや Oh さんにも内容を見ていただいた。



19:40

寮へ帰室。各自、翌日の準備でできていないところを行った。

20:30

作業終了し、各自就寝準備。

2014年8月27日

06:30

起床 朝食を済ませ、本日の発表の準備に取り掛かる。

08:45

寮の1階に集合し、迎えの車を待つ。車に乗るまでは、本日の発表の打ち合わせを行った。

9:00

高校に向け出発

9:30

Nawaminthrarachinuthit Satriwitthaya Putthamonthon (NSP) に到着。

日本の高等学校とは違い7階建てでとても大きい建物だった。学校名から女子高だと思っていたが、共学であった。生徒たちは、目が合うと手を合わせタイ語で「こんにちは」と挨拶をしてくれ、真面目で親しみやすい印象を受けた。NSPの日本語教師のChampさんから、高校についての説明や教室についての説明をされた。

10:30

授業を行った。10時10分の開始予定であったが、この高校はチャイム等が鳴らず、長い短いかかわらず前の授業が終われば、次の授業が始まるという日本とは違うシステムであった。そのため、予定より20分オーバーのスタートとなった。

授業に関しては高校生の反応はとてもよく、特に日本のアニメの紹介の時にはかなりの盛り上がりを見せた。タイには挙手という文化がなく、「手をあげて」と言っても挙がらないことが多かった。これは次回までの課題となった。

16:00

マヒドン大学に到着。1時間ほどの自由行動の後夕食を済ませ、本日の授業の反省点と明日の授業の打ち合わせを行った。

23:00

就寝

2014年8月28日

9:00

キャンパス内を走るスクールバスに乗り、大学内の教室に向かう。授業中に通訳をしてくれる Myao さんと Pimmy さんを交えてスライドの確認を行う。昨日の様子から、英語で内容を理解することが難しいと思われる生徒がいたため、所々スライドにタイ語を盛り込んだ。

10:30 大学内のカフェで昼食を摂り、NSPに向かう。

11:00

NSPに到着。スライドの確認と修正を再度行った。

12:40

授業開始時刻だが、生徒は一人もいなかった。準備をしながら、マイクテストなどを行い、待機。授業が連続であったため、先生方が配慮してくださり、教室変更をせずに授業を行うことができた。

12:55

12年生の授業開始。予定とは違った学年の生徒が最初に来たため驚いた。昨日の振り返りをして、「Did you understand?」と聞くと大きく頷いて反応してくれたため、やりやすかった。Activity では、タイ語の説明があったためだろう、生徒たちは内容を的確に理解し盛り上がった。課題を早く終えてしまった生徒も多かったため、その場で新たな課題を与えたが、改善の余地があると感じた。



時間配分にミスがあり、時間をオーバーしてしまい、最後にきちんと挨拶をすることができなかったことが心残りだ。アンケートを回収した後、お土産に一人一枚折り紙を渡したらとても喜んでくれた。

13:50

20分遅れで10年生の授業開始。前回の反省を活かし、時間配分とアンケート回収等の手順に気を配った。昨日の印象だと10年生は、アニメなどのスライドに関して興味を持ち、その後もおしゃべりをしてしまうといった印象があった。今日は、「Please listen」と言ってから話をするように心掛けた。私の言葉を聞いて、教室が静かになるように協力してくれた生徒がいて、嬉しかった。タイに来て授業をして、どんな生徒かもわからないのに注意などをするために声をかけることには勇気がいったが、真剣に聴いて、全力でActivityをしてくれて嬉しかった。感想などをタイ語で書いている生徒が多く、通訳がいなかったら伝わらなかったのかと考えた。

15:00

授業を終えてNSPを出発。

18:00

明日のスケジュールを確認して解散した。

2014年9月1日

10:30 Faculty of social scienceに集合し、Nopraenue先生と共にヴァンで出発した。

11:00前 Golden Jubilee Medical Centerに到着。早めに着いたにも関わらず、看護部長のYujin先生がスムーズに案内して下さった。

<Yujin先生によるお話>

ここには、入院病棟と一般外来があり、看護師は70人、看護助手は80人いる。しかし、1日における外来の患者数は1,300人を上回り、日本と同様に看護師不足が深刻な状態であ

るという。ベッドは60床あるが、看護師不足のため30床しか稼働していないそうだ。2床のベッドはターミナルケアを必要としている患者向けのものであるが、担当の看護師は1人しかいない。また、眼科、整形外科、泌尿器科、口腔外科の4つの科の一般外来があり、糖尿病や高血圧の患者が多いそうだ。人工透析や日帰り手術も行っている。看護師だけでなく、医師、薬剤師、理学療法士、歯科医師など様々な専門家がいる。それに加えて、タイマッサージ（育成期間4年）、代替療法などタイの伝統文化を取り入れた治療も行っているそうだ。実際に、浮腫対策のためのリンパマッサージの機械を体験させてもらった。病棟も見学させていただき、健康に関するニュースを伝えるボードが設置されており、患者に情報を提供していた。看護師のユニフォームは白で、日本とは違って帽子を着けていた。靴も白であれば自由なのか、ナースサンダルを履いている人はいなかったため驚いた。



Yujin 先生のお話



リンパマッサージを体験

12:20 社員食堂で昼食をとる。タイ語で紙にメニューを書いて注文する形式だったので、前に並んでいた女性に協力してもらった。早くやってくれて嬉しかった。

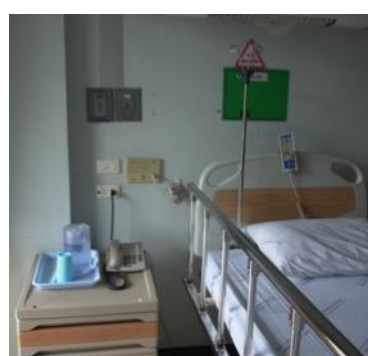
13:30 マヒドン大学の看護学部に向った。看護学部のキャンパスは、緑があふれていて広々とした中庭があった。建物はきれいで、ガラス張りのエントランスや食堂などもあった。案内された部屋に行くと、Aurawamon 先生が笑顔でお出迎えしてくれた。



Medical center にて集合写真



健康ニュース板



病室（個室）

<Aurawamon 先生のお話>

マヒドン大学看護学部における教育や、大学院の制度、タイにおける看護師養成についてお話を伺った。タイの看護師は、タイ全土に 80 ある四年制大学を卒業することが条件であって、より質の高い看護師の育成を目指している。教員：学生の割合は 1：8 と決められているということもそれを象徴している。日本の看護師は、2 年や 3 年の教育制度もある。また、高校の看護科を卒業した後に経験を積み、5 年かけて養成することもあると言ったら、先生は驚いていた。また、私は養護教諭養成課程の出身で、タイのスクールナースに関心があった。日本と違ってスクールナースは看護師免許を所有していることが条件であるが、看護師としての臨床経験は必須ではないそうだ。先生からお話を伺った後、Queen Grandmother の歴史について学んだ。展示室は所々にビデオが設置されており、実際に使われていた書類、当時使われていたベッドなども展示してあった。歴史を英語で理解することはかなり難しかった。

2014 年 9 月 2 日

7:30

今日は、午前中に 2 コマ授業がある。Pim さんが迎えにきてくれた。7:30 にタクシーで Nawaminthrachinuthit satriwitthaya Phuthamonthon 高校に向かった。

8:00

高校に到着。大勢の生徒が歌を歌っていた。毎朝 8 時に 3000 人が集合し朝礼をやっているそうだ。



廊下に座って朝礼をする生徒たち

Period	50 minutes	45 minutes
1	08.30 - 09.20	08.30 - 09.15
2	09.20 - 10.10	09.15 - 10.00
3	10.10 - 11.00	10.00 - 10.45
4	11.00 - 11.50	10.45 - 11.30
5	11.50 - 12.40	11.30 - 12.15
6	12.40 - 13.30	12.15 - 13.00
7	13.30 - 14.20	13.00 - 13.45
8	14.20 - 15.10	13.45 - 14.30
9	15.10 - 16.00	14.30 - 15.15

中学生の時間割

8:30

私たちの授業開始時間だがホームルームが終わっていきな少々待機する。学校の時間割りは、あつてないような感じである。生徒は、休み時間がないので急いで次の教室に移動しなければならない。

8:40

12年生の授業開始。50分授業だが遅れて開始したので40分で授業をしなければならない。生徒は、「おはようございます」と号令をかけて挨拶をしてくれた！先週の12年生よりも静かなクラスに感じる。中には、軍の授業も取っているなので、軍服の生徒もいた。通常は、靴を脱いで教室に入るが、軍服の場合はブーツなので脱がなくて良いそうだ。先生は、靴を脱がないで良い。ちなみに、先生用トイレは水洗だが、生徒は手桶流しのトイレである。私たちも、手桶流しのトイレにも慣れてきた。トイレには、トイレトーパーがないので、忘れないようにしなければならない。

生徒は日本に非常に興味を持っている。日本のアニメは、とても人気である。将来看護師になりたい生徒は、ひとりしかいなかった。先週のクラスでも少なかった。教師が人気の職業のようだ。

日本の紹介、自己紹介は、生徒も理解しやすく、大盛り上がりで進む。しかしながら、研究の本題に入ると難しいのか静かになる。先週の授業の反省から、生徒とのやり取りを多くしようと心がけ、質問をしたり、答えさせるようにした。上手く言葉が通じないところは、Champ先生が、通訳をしてくれた。



日本のアニメに興味を示す生徒たち



積極的な発言も見られた

9:20

次の11年生のクラスに移動するが生徒がいない。Champ先生が生徒を探しにしてくれた。

どうやらホームルームの先生が欠席したようで、私たちの授業があるのはこの時点で初めて知ったようだ。

9:40

11年生の授業開始。マヒドン大学の学生さんのMさんが、授業を助けにきてくれた。遅れて授業開始したので、30分でまとめなければならない。日本文化と自己紹介の時間を短くして授業を進める。途中、研究内容に入ると、やはり生徒には難しそうな印象を受ける。Mさんも同じことを感じたようで、ここでMさんからの通訳が入る。マヒドンの学生さんは、家庭教師のバイトもしているので教えることに慣れている。タイ語で補足を加えながら生徒に理解しやすいように伝えてくれているようだった。生徒は、頷ながら聞いていた。



授業の様子

10:10

授業終了。2コマ続きは、あっという間に時間が過ぎた。先週よりも私たちも緊張がとれたのか、楽しく授業ができた。このツインクルプログラムの目的は、日本の科学技術をASEAN地域に伝える授業である。当初、看護は他の科学と比べて伝えにくい分野と感じていたため、この授業が成り立つのかかなり心配していた。しかし、授業をしてみると生徒が何か感じとっているという印象を受けた。さらに、先週クラスのアンケートには、「授業はわかりやすかった」「患者さんをサポートすることがわかった」「他の人をサポートするこ

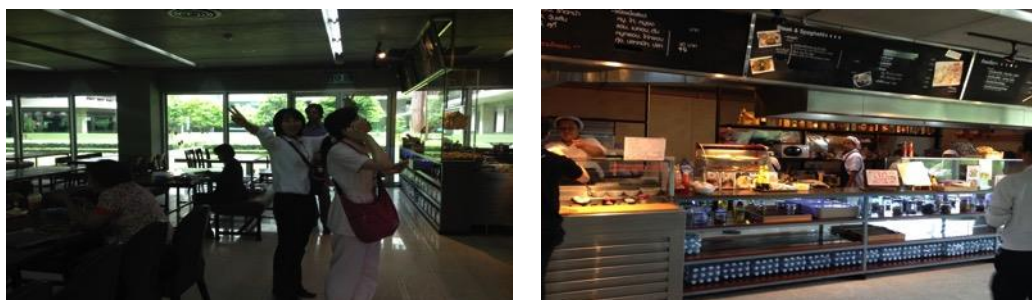
とがわかった」「授業は楽しかったので退屈しなかった」「がんについて学ぶことができた」というコメントがあったので、私たちにグループの授業の目的である‘他者をサポートすること’について学びを深めることができたと思う。これは、グループメンバーだけではなく、指導して下さったエイプリル先生、高木先生、そして授業をサポートしてくれたマヒドンの学生さん、Champ 先生の協力があったてできたものだ。このような環境に出会えたことに感謝している。

10:30

マヒドン大学にタクシーで帰る。

11:30

Mさんおすすめの看護学部のカフェテリアでランチをする。いつものカフェテリアに比べると新築で清潔でモダンである。しかも、値段は他の学内のカフェテリアと同じである。



カフェの様子

12:00

Mさんに音楽学部の建物を見せてもらう。こちらも新築の雰囲気、とてもきれいである。看護学部と音楽学部のトイレには、トレットペーパーがあった。

13:00

トラムで寮に戻る。Mさんは、バイクタクシーでアルバイトへ行くのでお別れ。



13:30

午後はMyaoさんが、一緒に過ごしてくれることになった。山田さん、吉田さん、白瀧さん

は、ショッピングとタイマッサージに行く。私は、明日の帰国にそなえて寮で荷物整理をする。

20:00

外出していた3名が帰室。エイプリル先生は体調を崩し休息。

9月3日

8:30 寮のロビーにて集合。

8:45 Natalieさんと共に高校へ向かう。佐藤さんは帰国のため Myaoさんと共に空港へ。

9:20 高校にて Day 2 授業（3回目）を行う。開始時間が遅れたため授業内容はすべて行うことができず、個人発表とディスカッションを省略した。生徒たちはゲームに一生懸命参加していた。

11:00 日本語教師 Champ 先生のクラスを見学させていただく予定であったが、授業のリクエストがあり、急遽授業を行うことになった。まず、日本語で「となりのトトロ」の歌を1フレーズずつ教え、Champ 先生にタイ語で歌詞の意味を伝えていただいた。そして、全員で始めから歌うことができた。次に、日本語のゲームとして「しりとり」を紹介し、日本語が得意な生徒を Champ 先生に選んでもらいしりとりを行った。生徒たちは、日本語は一生懸命勉強している科目の一つであることがわかった。



12:00 高校で用意して下さった昼食（ガパオご飯）をいただく。

13:30 Day 2（4回目）を行う。Day 1の振り返りでは生徒が理解できているかどうかを確認しながら進めることができた。3回目では時間がなくなってしまったが、Natalieさん、Myhaoさんの協力を得ることができ、ゲーム、感想の記入、発表時間を十分に確保することができたことがよかった。

15:00 Myhaoさんの車で寮へ帰室。

15:30 Natalie さんの車で、Mhyao さんと共に大学近くのスナックショップ、ショッピングセンターへ出かける。

18:00 大学近くでタイマッサージを受ける。

19:30 Mhyao さんと大学近くのレストランでタイ料理の夕食。

21:00 寮へ帰室。翌日の Final Presentation の準備を各自行い、就寝。

2014 年 9 月 4 日

9:00 寮の 1 階に集合し、Final Presentation の準備を行う。

10:30 寮を出発。準備が間に合わず、パソコンを持ったままスクールバスに駆け込むことになった。白瀧さんが体調不良のためエイプリル先生が付き添い、山田さんと二人で向かった。途中、いつもと同じバスに乗ったのになぜか車庫に行ってしまうという事件が発生。大きなマヒドン大学でどこにいるか分からず、かなりパニックになったが、運転手さんが乗り換えのバスと経路を教えてくれたため、無事に着くことができた。

11:00 予定していた時間に無事到着し、先生を待つ。Meow さんは今日も私たちの Presentation のサポートをするために来てくれた。しばらくすると Nopraenue 先生の代わりに先生がいらして、Final Presentation が始まった。先生はとても親しみやすい方で、私たちが上手く伝えられなかったところも、「これは〇〇のような意味ですか？」といった形で聞いてくださったり、Meow さんと確認をとったりして、私たちの Presentation を理解しようとしてくださった。英語による表現が乏しい私にとって、Presentation をする前はかなり緊張していたし、不安もあったが、充実した 2 週間を振り返りながら楽しく伝えることができたと思う。

【学生の感想】

今回のプログラムでは、グループのメンバーやツインクルオフィスを始めたくさんの方々と関わり、支えられました。事前準備で悩むことも多く、何度も「やめたい」と思いましたが、困っている時に力を貸してくれる人がいたので頑張ることができました。タイの高校に行ったり、マヒドン大学の方と交流したりして、自分の中にあつたあたりまえが狭いものであると実感しました。この経験を活かして、よりグローバルで柔軟な視点で教育に携わりたいと思います。